

学校教育目標：ふるさとを誇りとし、志高く、未来をたくましく切り拓く越ヶ浜っ子の育成

【校訓】

至誠 躍動 創造

かけはし



令和4年度萩市立小中一貫教育校 越ヶ浜中学校 学校だより

R4.11.14

【全校美術～校内研究授業～】

「魅力的なポスターをつくろう」というテーマのもと、11月9日（水）に全校美術を実施しました。

生徒は技術・家庭科で制作した作品をタブレットのカメラで撮影して、ポスターをつくる活動に取り組みました。最初に、魅力的なポスターとは、どのようなものかを考えました。ポイントは、構図・陰影・配色の組み合わせです。重要なポイントを確認した後、生徒は前回撮影した写真（ポスター）を見て、ワークシートに改良点を記入しました。そして、他の生徒との意見交換を通して魅力的なポスターのイメージをつかみ、再度、撮影に臨みました。

今回の全校美術は校内研修（1人1授業による授業改善）の一環として実施しました。今年度の越ヶ浜小・中学校の研修主題は「主体的に学び、成長する児童・生徒の育成～小中一貫教育による学力向上への取組を通して～」です。学校では各教科の授業において、「生徒の対話的な活動」や「振り返り」を重視し、全教員が学習指導の充実をめざしています。全校美術の授業においても、小グループでの意見交換や

3年生から1・2年生への助言により、生徒一人ひとりが考えを深めている様子が見られました。

当日は、本校の教員だけではなく、萩市の学力向上推進リーダーや学校運営協議会委員の方も授業参観および研究協議に参加してくださいました。授業改善に向けて、多様な視点で意見を出し合い、貴重な研修の機会とすることができました。

【萩市国際交流員との交流】

萩市国際交流員のハナ・ギーチさんが11月2日（水）に越ヶ浜中学校を訪れ、全校生徒と交流を図りました。ハナさんは9月26日（月）に山口県漁協越ヶ浜支店でお菓子づくりの講座を実施し、越ヶ浜地域の方とも交流をされています。

授業では英語で自己紹介のやりとり、ハナさんによる外国文化の紹介などが行われました。生徒からは「オーストラリアの学校や食べ物のことなど、知らないことが知れてよかったです。」「ハナさんのお話を聞いて、留学や海外旅行に興味をもちました。」等の意見が寄せられました。



意見交換の様子



撮影の様子



自己紹介の様子



【花壇作業】

先日、花壇の花の苗植えを行いました。今回植えたのは「パンジー」「ピオラ」「ノースポール」「キンギョソウ」です。冬の厳しい寒さを乗り越えて、これから春にかけてきれいな花を咲かせるのが今からとても楽しみです。



校長室から

現在、学校では様々な場面で、生徒1人につき1台の端末（i P a d）を活用した授業や活動に取り組んでいます。先日参観した3年生の社会科（公民）では「だれを市長に選ぶ?」というテーマで、生徒は複数の候補者の主張のメリット・デメリットについて考えていました。まず個人で考え、ジャムボード（Google が提供しているアプリ）に自分の意見を入力した後、グループの意見を共有して学び合いを進めていました。また、2年生の理科ではデジタル教科書を用いて、生徒がそれぞれのペースで湿度に関する様々な練習問題を解いていました。

情報化やグローバル化の急速な進展に伴い、私たちは普段の生活の中でICT（Information and Communication Technology 情報通信技術）を日常的に活用するようになってきました。文部科学省が出している「教育の情報化に関する手引」では「これからの学びにとっては、ICTはマストアイテムであり、ICT環境は鉛筆やノート等の文房具と同様に教育現場において不可欠なものとなっている」と書かれています。

GIGAスクール構想により、昨年度から萩市においても児童生徒は常時1人1台の端末を占有することができるようになりました。GIGAスクール構想とは、義務教育を受ける児童生徒に1人1台の学習者用端末と高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画をまとめたものです。ちなみに、GIGAとは、Global and Innovation Gateway for Allの頭文字を取ったもので、日本語では「全ての児童生徒のための世界につながるための革新的な扉」と翻訳されています。

これまでの学習場面では、一斉授業の形態で教員が画像や動画を提示し、生徒の興味・関心を高めている場面が多く見られました。しかし、1人1台端末の導入により、生徒は自分に合った進度や習熟度によって学習を進めることが可能になります。加えて、Zoomの利用を通して、遠隔地の学校とリモートで交流学习を実施することもできます。情報通信技術の「時間的・空間的制約を超える」「双方向性を有する」「カスタマイズを容易にする」といった特長を生かし、1人1台端末を用いた学習は教育の質をより一層向上させることができます。

ICT機器の使用はメリットもありますが、健康への影響やネット依存などの問題もあります。学校では機会を捉えて、節度ある利用や健康面での配慮等について繰り返し生徒に注意喚起を行い、これからも1人1台端末を有効に活用していきたいと考えています。

